

② ファウルと不正行為 (意図的でないハンド)

③ PK (侵入・ボールをセットする位置)

今日の大会で、チームによってアームバンドを着けていたり、着けていなかったり・・・
着きたいチームが着けるんですか？



ルールで、各チームには、アームバンドを着用したキャプテンがいなければならぬことになったんだけど、東京都中央大会では、着けるか着けないかチームの判断で、どちらでも良いことになったよ。



そうなんです。アームバンドは、どんな物でも良いんですか？



アームバンドには、決まりがあつて、単色つまり1色でなければならぬんだよね。文字を入れる場合も、文字も単色でなければならぬんだよ。



① キャプテン&キャプテンマーク

でも東京都中央大会では、アームバンドにもともとメーカー名が入っていたりするの物でも認めることになったよ。



アームバンドに仲間にメッセージ書いてもらおうかな・・・



東京都中央大会では、刺繍をしたり、メッセージを書いたり手を加えたアームバンドは認められないんだよ・・・もし、着ける場合は、手を加えない物を使ってね。



2023・24のルール改正を復習しよう。



ペナルティーエリア内で
*ボールにプレーしようと
して反則をした。

*ボールに向かうことで相手選手と争い反則をした。
この2点において・・・



相手の大きな攻撃のチャンスを妨害または阻止したことで、ペナルティーキックが与えられた場合に警告されないことになった。



相手選手の決定的な得点の機会を阻止したことで、ペナルティーキックが与えられた場合に警告になった。

そうですね。これは去年、変わったところでしたね。

今回から「意図的でないハンドの反則」もこれと同じ扱いになるんだよ。

あっ・・・懲戒の罰則が一段階下がるということですか？



つまり「意図的でないハンドの反則」でPKを相手チームに与えた場合、
①相手の大きな攻撃のチャンスを妨害または阻止した場合は警告されない。

②相手の得点、または決定的な得点の阻止の場合には警告となるんだよ。



なるほど・・・
ところで、「意図的でないハンドの反則」って、どんな場合ですか？



手や腕で体を不自然に大きくした場合は考えられるね。



逆に「意図的なハンドの反則」ってどんな場合ですか？



主に、ボールの方向に手や腕を動かして手や腕でボールに触れた場合だね。



ハンドの反則って難しいですね・・・



「意図的なハンドの反則」をして相手得点、または決定的な得点の機会を阻止したら、反則をした場所に関係なく退場ですよ。



もちろん！
その場合は、相手チームにPKを与えるか、関係なく退場となるよ。



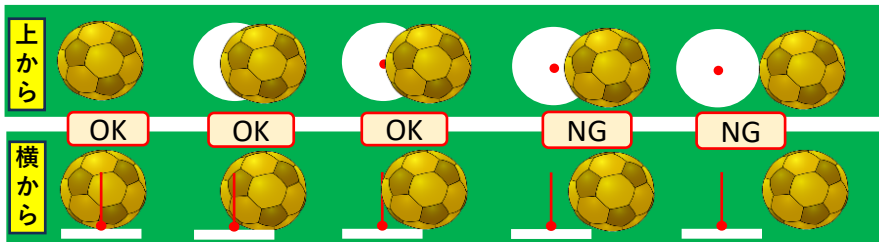
「意図的なハンドの反則」は押さえる、引っぱる、押す、またはボールをプレーする可能性がないなどの状況の反則と同じ考えで罰則が与えられるんだよ。



教えてもらったことを頭の中で整理してみます・・・



③-2 PK ボールのセット場所



ペナルティーキックのとき、ボールをセットする位置がハッキリされたよ。



その通りで、この条件に合うようにボールを置こうね。



ボールはこの条件に合っていれば、前後左右にずらしても良いんですか？



上の図を見てください。ボールはペナルティーマークの中心にボールの一部が触れているか、かかるように置けば大丈夫だよ。



あっ・・・審判の方にボールの置き位置を注意されているのを見ました。

侵入するときの、いきおい、スピード、位置などからキッカーやゴールキーパーに影響があったかどうかを考えるといいね。



早い段階で侵入していたら影響あるね。

PK 要約表	ゴール	ノーゴール
攻撃側選手の侵入	影響あり： ペナルティーキックは再び行われる 影響なし：ゴール	影響あり： 間接フリーキック 影響なし： ペナルティーキックは再び行われない。
守備側選手の侵入	影響あり：ゴール 影響なし：ゴール	影響あり： ペナルティーキックは再び行われる。 影響なし： ペナルティーキックは再び行われない。
守備側選手および攻撃側選手の侵入	影響あり： ペナルティーキックは再び行われる 影響なし：ゴール	影響あり： ペナルティーキックは再び行われる。 影響なし： ペナルティーキックは再び行われない。

公益財団法人 東京都少年サッカー連盟 審判部

私たち選手は、ボールが蹴られるまで、侵入しないよう注意していこうと思います。



ノーゴールにおける侵入の影響は・・・得点する、得点しようとする、または得点の機会を作り出す、あるいは作り出すことを妨げたか？を考慮されるよ。



③-1 PK 侵入

今まで、PKのときにキッカーがボールを蹴る前に、他の選手がペナルティーエリア内に侵入したときは反則だったよ。



その侵入がキッカーやゴールキーパーに影響がある場合やキックの結果に影響を与えたときのみ罰せられることになったんだよ。



ボールがゴールキーパーやポスト、バーからはね返りプレーできる状況になった場合が考えられるね。



ペナルティーキックの結果が変わったところを表にしてみたいので具体的にみてみよう。



キックの結果に影響を与えるって、どういうことですか？



はい。攻撃側チームの選手、守備側チームの選手、両方のチームの選手の侵入かななどで対応が違いましたよ。



侵入したキッカーの味方選手がプレーに関わって、得点をしようとしたり・・・



侵入したゴールキーパーの味方選手がプレーに関わったとしても、相手に相手選手もいなく、相手の得点の機会を阻止しているものでなければ、影響なしと考え、プレーを続ける。



そうだね。その侵入については、ただだけど、今回からは、ゴールキーパーの侵入と同じ扱いになるんだよ。

どういうことですか？

